

# みやしん野球部、二年連続優勝！！

## 第72回 国民体育大会 軟式野球競技 宮城県予選

平成29年6月3日（土）・4日（日）・10日（土）、第72回国民体育大会 軟式野球競技 宮城県予選（於：大崎市鹿島台中央野球場他）が開催され、当金庫野球部が二年連続の優勝を果たしました。

試合方法は一次予選と二次予選に分かれております。

一次予選はさらにリーグ戦とトーナメント戦に分かれ、「リーグ戦の上位2チーム」と「トーナメント戦のⅠ・Ⅱブロック代表2チーム」の全4チームが「二次予選（決勝トーナメント）」に進み宮城県代表一つの代表枠を争う試合方法。一次予選を通過したチームは下記のとおりです。

一次予選「リーグ戦の部」勝率上位2チーム【一位：宮城第一信用金庫 二位：杜の都信用金庫】

一次予選「トーナメント戦の部」ブロック代表2チーム【Ⅰブロック：（株）仙台銀行 Ⅱブロック：JOBANZ】

二次予選：準決勝

準決勝戦はJOBANZ。当金庫は1回裏の攻撃から、進藤や佐藤（秀）の長打を絡め3点先取。続く2回裏の攻撃、岡崎・佐藤（秀）の内野安打に四死球を絡め2点を追加し序盤で完全にペースを握った。中盤6回裏には新人伊藤と岡崎の長打と相手失策により3点追加し試合を決めた。この試合先発した高橋の投球内容は4安打完封（四死球ゼロ）と安定感抜群。リズム（流れ）と野手の負担（疲労）を考慮したその投球内容は圧巻であった。

二次予選：決勝

決勝戦は（株）仙台銀行。当金庫先発小野と相手先発は長谷川選手。序盤は予想どおり投手戦となった。試合は0対0の投手戦と決勝戦に相応しい緊迫した展開。当然「チーム内では先に失点したくない」との心理が働き体は硬くなっている。この場面で最も怖いのは「なんらかのミスが出ること」である。

試合が動いたのは当金庫4回裏の攻撃、堀松が仕掛けた技あり内野安打。その思い掛けない安打に動揺し相手はミス（ボーク）を出す。ボークを足がかりに安打とセーフティスクイズを絡め1点先制。

しかし5回表仙台銀行の攻撃、先頭打者に対し小野は先制したことに力んでしまい四球を出してしまう。チャンスを見逃さない仙台銀行樋口選手はタイムリーヒットですぐさま同点に追つき振り出しに戻す。

当金庫6回裏の攻撃、疲労が出てきた相手投手の四球と内野エラーで流れが一気に当金庫へ！チャンスの場面で岡崎と馬場の連続長打とエンドランを絡め5点をもぎ取る。以降、小野が残りを抑え勝負あり。二年連続優勝果たし東北総体（ミニ国体）出場権を獲得しました。

今般の大会出場に多くのお客さまからご声援を頂きましたこと大変感謝申し上げます。次なる大会は8月19日（土）から開催する東北総体（秋田県ミニ国体）です。今年こそ本国体（愛媛県）に出場します。今後も努力を怠らず頑張りますので、引き続きご支援とご指導賜りますようお願い申し上げます。

<対戦結果一覧>

### 準々決勝（9回戦）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
J O B A N Z	0	0	0	0	0	0	0	7回コールド		0
宮城第一信用金庫	3	2	0	0	0	3	×			8

### 決勝戦（9回戦）

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
株式会社仙台銀行	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
宮城第一信用金庫	0	0	0	1	0	5	0	0	×	6

